

令和6年度 校内研修会計画

1 令和6～8年度の研究主題

一人一台タブレットやそのアプリを活用し、生徒の伝え合う力を高める指導の研究と実践

2 研究のねらい

- ICT機器やタブレットの活用についての研究を通して、教員の授業力向上や、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- 「心の教育」の柱となる道徳授業の研究を通して、教員の授業力向上を目指す。

3 研究の方法

○ 研究組織

研修委員会及び全教職員

○ 取組の内容

- ① ICT機器や一人一台の端末の活用についての研究を通して、教員の授業力向上や生徒の学習意欲向上を目指す。
 - ・ 教育機器（一人一台のタブレット PC、デジタル教科書・電子黒板等）を積極的に授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実践できるよう適切な授業改善を行っていく。
 - ・ 研究授業を始め、授業を見合う期間を設定するなどして、様々な授業方法を学べる機会をつくる。
 - ・ ICTのさまざまな活用方法や、新しい学習アプリの研修を通して、授業中や自宅で生徒がタブレットを活用できる環境を整える。
- ② 「心の教育」の柱となる道徳授業の研究を通して、教員の授業力向上を目指す。
 - ・ 道徳の研究授業を通して、様々な授業方法を学べる機会をつくる。
 - ・ 講師などを活用して、最新の道徳教育について学ぶ機会をつくる。
- ③ 特別支援教育への理解を深め、個に応じた支援ができる体制をつくる。
 - ・ 学年の生徒の情報共有や講師の活用を通して、特別支援教育の理解及び推進を図る。
 - ・ 支援センターなどのさまざまな外部機関を活用し、状況に応じた支援が行えるようにする。
- ④ その他の研修
 - ・ 服務研修
 - ・ 情報研修（ベネッセ：3回）
 - ・ 研修のまとめ

4 研究計画

- 授業研究：年3回（道徳：1回、6教科（国・数・英・社・理・体）：2回）

3年間で上記の6教科の授業研究を行う。道徳は第1学年が担当する。

年度	教科	道徳
R06	理科・社会	1年
R07	国語・体育	1年
R08	数学・英語	1年

- 授業を見合う期間の設定

1学期：第2学年、第3学年

2学期：第1学年

研修委員会で設定した期間で担当する学年は授業を行う。他学年は空き時間を活用して参観する。

授業者は略案を作成する。見学者は、授業見学シートに授業の良い点を記入し、授業担当者と研修委員会担当者に渡す。

- 講師の依頼（道徳、特別支援、QUの活用など）

5 令和6年度 校内研修会の予定

回	日	曜日	内容	講師
1	4/9	火	サービスに関する研修	校長
2	4/17	水	生徒の情報交換等、特別な配慮を要する生徒の対応、特別支援教育について、評価について	各担当
3	7/18	木	サービスに関する研修	校長
4	9/4	水	情報モラル教育研修	協力：ベネッセ担当者
5	9/25	水	研究授業（社会）	社会科
6	11/20	水	I C T研究授業（理科）及びI C T活用研修	理科 協力：ベネッセ担当者
7	12/18	水	情報セキュリティ研修	協力：ベネッセ担当者
8	12/24	火	サービスに関する研修	校長
9	2/12	水	研究授業（道徳）	1学年
10	3/12	水	本年度の研修のまとめ、入試についての報告	協議会